

## 子どもの権利カタログワーキンググループの進捗状況について

### 1. ワーキンググループメンバー(※敬称略、50音順)

相川 梓、相川 裕、窪寺 真理、齋藤 直巨、田谷 幸子、野村 武司、宮川 学

### 2. 打合せ実施日

第1回 令和3年3月18日(木) 13時00分～14時30分

議題:スケジュールの確認、権利カタログに関する意見交換 等

第2回 令和3年3月26日(金) 10時00分～12時00分

議題:プラスアルファとして掲載すべき個別の権利について、  
条例の全体構成 等

### 3. 議論の進捗

#### (1) 子どもの権利カタログについて

##### <検討の方針>

子どもの権利条約に規定する一般原則を盛り込んだうえで、個別に明記すべき事項を載せる。

##### <打合せでの主な意見>

- ・条約をすべて網羅的に載せたいが、厳しいのではないかな。
- ・条約の一般原則を載せること自体に意味があるため、一般原則を載せたうえで、様々な場面に対応する権利を載せることで、網羅性を担保しつつ、具体的な場面に対応できるのではないかな。
- ・中野区がどのような文化を創っていくのか、何を目指していくのかを確認しながら検討していく必要がある。
- ・大人が子どもの権利を考え直せるような内容であるといい。きっかけがあると、子どもの権利について意識してもらえるのではないかな。
- ・区の長所、強みなど、区が活かすことができるものを載せる、という視点があっても良い。

#### (2) 条例の構成について(明記すべき事項、条例の全体構成)

##### <検討の方針>

条例の全体構成を「あらゆる場面」、「家庭」、「育ち・学ぶ施設」、「地域」に分類し、それぞれに個別の権利を検討していく。

#### <打合せでの主な意見>

- ・「遊ぶ権利」、「自分の考えを表現し、配慮を得る権利」、「意見を表し、尊重される権利」など、個別に明記すべき重要な権利がある。またそれらの個別の権利は、言葉の違いはあるが全体としての方向性は近い。
- ・区は、人との関係で悩んでいることに対して「あなたの権利は守られますよ、守る人がいますよ、一人じゃないよ」ということを伝えていかないといけない。
- ・「一人じゃない」、「子どもは社会の一員・パートナー」など、関係性を表す言葉が目的として入ると良い。
- ・前文に様々なメッセージ性のある言葉を入れることで、区がしたいこと、目指すことを伝えることができる。

#### (3)関連する課題について

子どもの権利に関連し、以下の課題についての議論を深める必要がある。

#### <条例が機能し続ける仕組み>

社会が変化して子どもや社会のあり方が変わっても、「子どもの権利が尊重される」という理念が変わることなく地域の中で浸透し、生き続けるための仕組みが必要である。

#### <条例の周知>

子どもの権利が地域の中に浸透していくためには、大人が普段の生活や子どもとの関わりの中で、子どもの権利について考えるきっかけが必要であり、そのための子どもの権利に関する普及啓発や周知が必要である。

#### 4. 今後の予定

これまでの打合せや第4回審議会での意見を踏まえ、全体像のたたき台を作成するとともに前文に掲載すべきキーワードを持ち寄り、さらに議論を深める。